

太古から未来へと
瞬間から瞬間のダンスパフォーマンス

美しき地球 ONENESS

作/演出 那須シズノ

2023.4/22^土

pm7:00 開場 / pm7:30 開演
前売 4500円 / 当日 4800円

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT

アールスペース

<http://toyohashi-at.jp>

[出演]

SHIZUNO NASU Dance Company

那須 シズノ

足立 るみ
山本 麻代
瀧川恵理奈
吉岡 晴加
岩本 康平

[友情出演]

Miroku Meditation LOTUS
STUDIO Alegresco
空 ~ Qou ~

照明 しらきりつこ

チケット取扱い

VISUAL SOUND MOVEMENT
美しき地球実行委員会
090-1296-1302 (吉岡)

VEGECAFE LOTUS

0532-69-0880
9:00 ~ 18:00 月曜定休

STUDIO Alegresco

0532-57-1322
090-2260-1322(福井)
火曜 / 日曜定休
E-mail: info@studioalegreco.com

プラットチケットセンター

オンライン: <http://toyohashi-at.jp>
(24時間受付・要事前登録)
窓口・TEL: 0532-39-3090
10:00 ~ 19:00 休館日を除く

会場 アクセス

〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町 123 番地
豊橋駅・新豊橋駅直結。豊橋駅南口から徒歩3分

世界存在の全てはひとつで在る

自由へと 解き放つ瞬間 全ての境界を超えてゆく

3歳から踊り続けている私はもう70年近くこの地球の上を踊ってきました。

ハワイの大自然に抱かれながら地球生命のコアからの鼓動をうけとめ

私は炎であり、私は水であり、風を舞い踊る。より自由に… さらに自由にと…

自らを解き放ち自然と繋がるその瞬間その時、全ての境界を超えひとつと成る。

私の意識は、個成る私から自然へ、自然から地球へ、そして宇宙へと、世界存在、全てはひとつで在ると。

私の五感とダンス身体を通じ感じとめてきました。

「美しき地球」ONENESS、この冒険に満ちた喜びのダンス創造

時間と空間／意識と身体／地球そして宇宙この身体表現のチャレンジは更なる自由意識をもって太古から未来そして、今 此処、この瞬間ダンスの面白さと楽しさそして純粋芸術の拡がりを見つめながら

「新たな感動の舞台を伝えたい」と、私は挑むのです。

那須シズノ



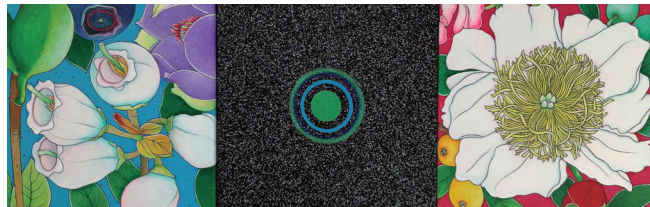
3歳でクラシックバレエを始め、僅か7歳でポリショイバレエの国際交換留学生に選ばれる。19歳より舞踊家として活動を始め、25歳ダンススタジオを設立、地域社会の様々な文化ダンス教育に貢献する。30代、踊りの原点を問い、独舞ソリストとなって日本、そして世界各国を舞踊行脚し、古代から伝わる踊りの原点の探究に挑み、舞いにおける深い精神性と技を極め独自の「スパイラルビジョン」を醸成する。フランス／パリからアメリカ／ニューヨーク移住 NYブロードウェイに那須シズノダンス研究所設立。2001年ハワイ島ボルケーノに創造の拠点「SHIZUNO NASU DANCE INSTITUTE」再開。ハワイ島における壮大な大自然、地球コアの炎と満天の星、地球と宇宙の光のインスピレーションをうけとめ新たなダンス創造に向かい現在に至る。心と身体を解き放ち、自らの創造の瞬間「今ここを生きる」ダンスワークショップと即興ダンスの講座を日本全国で行う。2022年春、SHIZUNO NASU ダンスカンパニーを結成し、純粋芸術の創作舞台活動を世界に発信し続ける。



VISUAL SOUND MOVEMENT
2018年 ニューヨーク公演
作演出 主演 那須シズノ

ステージ アート

現代美術作家 SUSUMU SAKAGUCHI



1944年熊本生まれ。12才で渡米。

14才からオーティス美術大学にて専門美術教育を受ける。カルフォルニア芸術大学 (Cal-Arts) 大学院を首席で修了し、1973年より現代美術最前線であるニューヨークにて作家活動を続ける。1977年 NY. ノベギャラリーの個展にてイサムノグチより認められ、1977年～1988年イサムノグチ没するまでの10年間、ニューヨークチーフアシスタントを勤め上げる。1981年、東京原美術館の企画展を期に日本においても作品を発表することとなる。

日本とアメリカ、私の中の二つの文化の重なりは、「イメージと観念」そのものであった。2000年を超え、私の意識は地球生命そのものを捉え始めていった。地球において必要な事は、今というこの現実社会の中で、人類はひとつとなって「平和である人の意識」こそが未来を築くのではないだろうかと思っている。

Susumu Sakaguchi